

## 全校集会 学習面

小野中学校学習担当 箭内

「形あるものは壊れても、人が学んだことは壊れない。だからこういうときこそ学ぶんだ」これは、阪神・淡路大震災の時に、被災した高校生が、当時の担任の先生に言われた言葉だそうです。

次の2つのことにぜひ、取り組んでほしいと思っています。

まず、1つ目は、授業がなくなったこの時期に苦手克服に励んでください。

学校の授業がある時期は日々の課題をこなすのに忙しく、一度つまずいてしまった科目はなかなか取り戻す時間が取れません。このような臨時休校・自宅学習の時間は、時間をかけて復習するのにぴったりです。時間をかけて苦手科目に取り組めば、必ず取り戻し、得意科目にすることができます。ワークブックをやる際には、ワークブックに直接答えを書くのではなく、ノートに解きましょう。そして、大切なのは解く時よりも、「答え合わせ」とその後の取組です。ワークブックの問題番号の所に、正解したら○印、間違えたら×印を書き込みます。×の問題は解説をよく読み、次の日以降にまた解きなおします。できたらワークブックに○印、できなかつたら×印で、×印がなくなるまで続けるのです。要は、「出来ない所を出来るようにする」のが勉強ですから、ワークブックは一度解くだけでは意味はありません。間違えた問題を出来るようにすることで、力が伸びるのです。シンプルなやり方ですが、東大や難関大学に合格した人たちの多くが実践している勉強法です。一か月は、ゲームばかりしていたり、スマホばかりいじっていたりするとあっという間に過ぎてしまいます。この期間は休みではなく、「自宅学習」の時間です。ぜひ、苦手科目の克服に取り組んでください。

1 次の条件を満たす2次関数を求めよ。

- (1) 頂点が (4, 3) で、点 (1, 5)
- × (2) 頂点が (2, -3) で、点 (0,
- ×× (3) 軸が  $x=6$  で、2点 (2, 4),
- (4) 軸が  $x=-3$  で、2点 (2, 4)

### 自宅学習のポイント

- ① 問題集ではなくノートに解く
- ② 答え合わせ後、問題集に○×印をつける
- ③ ×の問題は解説をよく読み、翌日に再挑戦
- ④ ×印がなくなるまでくりかえす

また、3年生は、いよいよ明日から受験になります。今まで2回できた問題は3回目も当たる確率が高いものです。逆に、2回外れた問題は3回目も外れる確率が高いものです。前日出来る最善の策は、1回外れて1回当たるという微妙な問題に取り組み、理解を確かなものにする事です。これまで解いた実力テストや定期テストなどを見直し、ぜひ、微妙な問題を復習することをお勧めします。3年生の健闘を祈ります。

2つ目は、N I Eの取り組みを続けてください。先日の後期生徒総会では、横田君が、「ぜひ続けてほしい取り組みだ」と言っていたことを覚えていますか？小野中学校は、これまで、1学期は模写、2学期は見出し、3学期は感想記入について取り組んできました。新聞記事の感想や意見を書くことで、自分の考えをしっかりと持ちことができます。さらには、漢字の読みや文章表現も身に付いてきて、将来、必ず役立ってきます。ぜひ、みなさんも自分で新聞を読み、N I Eの取り組みを続けてください。

最後になりますが、みなさんは「少年老い易く学成り難し」という言葉は知っていますか？この言葉は「若いうちはまだ先があると思って勉強に必死になれないが、すぐに年月が過ぎて年をとり、何も学べないで終わってしまう、だから若いうちから勉学に励まなければならない」という意味のことわざです。ぜひ、みなさん、休みになってしまったことをプラスにとらえて、勉強に励んでみてください。